

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和7年度事業報告

令和7年度事業報告 目次

令和7年度事業総括	5
I 自主事業の企画制作	
1 質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信	6
つくる みる	
(1) 世界的なダンス・カンパニーの招聘上演	6
(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演	7
2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演	9
つくる みる	
3 パイプオルガンを活かした公演・人材育成・普及教育事業	12
みる ひろげる そだてる・つなぐ	
4 あらゆる人に芸術の豊かさを体験する機会を提供	14
つくる ひろげる	
(1) 様々な方々が劇場に足を運び芸術と出会う体験型事業	14
(2) 小～高校生招待鑑賞「劇場と子ども7万人プロジェクト」	18
5 地域文化力の向上	19
ひろげる そだてる・つなぐ みる	
(1) 国内/地域の劇場や民間事業者との連携による公演事業	19
(2) 人材養成事業	22
6 地域社会の課題解決に向けた取り組み	24
ひろげる そだてる・つなぐ	
II 広報等、連携・交流	
1 広報等	26
(1) 広報	26
(2) 販売促進	26
(3) 賛助会員制度	26
(4) 調査・研究	27
2 他団体との連携・交流	27
(1) 海外芸術交流事業	27
(2) 圏域の公立文化施設とのつながり	27
(3) 職員の派遣	27

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアールスペース	28
(1) 芸術劇場の利用状況	28
(2) アールスペースの利用状況	28
(3) 利用料金収入の状況	29
2 アートプラザ	29
3 愛知芸術文化センター全体	29
(1) 施設管理	29
(2) 防火・防災	29
(3) 芸文センターの活性化	30

Ⅳ 収益事業

1 ミュージアムショップ	31
2 プレイガイド	31

Ⅴ 法人運営

1 理事会・評議員会の開催状況	32
2 法人の運営体制の充実を図るための取組	32
3 組織体制	33

Ⅵ 資料

別表1 愛知県芸術劇場の利用状況	35
別表2 アールスペース（催事室）の利用状況	39

令和7年度事業総括

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年の設立以来、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携の下、各種の文化芸術事業を実施しています。また、愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を行っています。

自主事業については、上質な舞台芸術公演や先駆的・実験的な作品を提供するという芸術的方针に従い、令和7年度も当劇場プロデュースによる新作の創造発信に取り組むとともに、プロデュース作品を広く届けるため国内外のツアーを実施しました。

また、国内外のアーティストによる多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供しました。

さらに、ゴールデンウィークや夏休みに集中的に開催する家族層向けのプログラムを実施したほか、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも取り組みました。とりわけ普及啓発においては、子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」に引き続き注力しました。

また、令和6年度から実施している「Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト」を継続し、年間を通して作品の創作活動・上演・発信をすることで、舞踊家（ダンサー・振付家）を中心にダンス作品の創作に関わる人材を育成しました。

加えて、劇場に来づらい方向けの鑑賞サポートや、愛知芸術文化センターの活性化を図るための新たな取り組みとして、センター内の共通スペースでパフォーマンスを行うプログラムも実施しました。

		事業数	公演数	来場者数/ 参加者数
1 質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信	(1) 世界的なダンス・カンパニーの招聘上演	4	5	4,862 人
	(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演	8	21	2,337 人
	計	12	26	7,199 人
2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演		7	29	3,492 人
3 パイプオルガンを活かした公演・人材育成・普及教育事業		6	10	7,492 人
4 あらゆる人に芸術の豊かさを体験する機会を提供	(1) 様々な方々が劇場に足を運び芸術と出会う体験型事業	10	22	4,900 人 23 組
	(2) 小～高校生招待鑑賞公演	10	18	2,978 人
	計	20	40	7,878 人 23 組
5 地域文化力の向上	(1) 国内/地域の劇場や民間事業者との連携による公演事業	10	25	8,581 人
	(2) 人材養成事業	9	14	1,998 人
	計	19	39	10,579 人
6 地域社会の課題解決に向けた取り組み		7	-	528 人 23 組

※各事業間で重複するものは、それぞれ計上しています。

※人材養成事業のうち、オルガニスト養成事業修了試演会は、事業数・来場者数に計上していません。

※障害者及び劇場に来づらい人のためのサポートは、種類ごとに1事業として計上しています。

芸文センターの管理運営では、引き続き、お客様・ご利用者様の目線に立ち、安心・安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上に努めました。また、芸術劇場及びアートのスペースの利用サービス向上を図るため、キャッシュレス決済に加えて、附属設備及び延長利用料金の後納制度も、引き続き実施しました。

I 自主事業の企画制作

1 質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信

つくる みる

愛知県芸術劇場における30年の経験を活かし、劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演や、世界的なダンス・カンパニーの招聘上演など、質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信を行いました。

(1) 世界的なダンス・カンパニーの招聘上演

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』	6月28日(土) (1公演)	大ホール	69%	1,001人 (1,164人)
	ロンドン五輪開会式(2012年)で振付を担った世界的振付家アクラム・カーンによるアニメーションとダンスを融合した公演を実施しました。公演を通して人間と動物、気候変動、生き物の多様性など、子どもから大人まで世代を超えて感じ取っていただきたいメッセージを発信しました。			
公演 ヒューストン・バレエ ①「オープニング・ガラ」 ②「ジゼル」	①7月10日(木) (1公演) ②7月12日(土) (1公演)	大ホール	—	①546人 (1,846人) ②1,271人 (1,714人)
	2022年に待望の初来日を果たしたバレエカンパニーによる愛知初公演を実施しました。豊富なレパートリーの中から、半世紀以上にわたり培われてきた創設期の作品を上演しました。名古屋出身でバレエ団のトップバレエ・ダンサーの加治屋百合子も出演しました。			
公演 Ballet Muses-バレエの美神 2025	11月5日(水) (1公演)	大ホール	—	800人 (1,406人)
	世界各国の名門バレエカンパニーより、今観ておきたい注目の若手/旬のダンサーが総出演するガラ公演を開催しました。			
公演 ネザーランド・ダンス・シアター (NDT 2)来日公演 2025	11月24日(月・休) (1公演)	大ホール	88%	1,244人 (1,325人)
	オランダを拠点に60年以上にわたり世界で上演を続けるコンテンポラリーバレエカンパニーNDT。令和6年度に約5年ぶりに来日し、群馬・神奈川・愛知の各地で多彩なプログラムにより熱狂を巻き起こしたNDT1に続き、NDT2による公演を開催しました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演

令和6年度より、「Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト」として、島地保武・酒井はな・三東瑠璃・Null（ヌル）を、劇場ダンスアーティストと位置づけ、彼らによる年間を通じた作品の創作活動・上演・発信をすることで、舞踊家（ダンサー・振付家）を中心にダンス作品の創作に関わる人材を育成しました。また当劇場で制作した作品の国内外での再演を行いました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 島地保武×環 ROY『ありか』 香港公演 (主催：大館 (TAI KWUN) “SPOTLIGHT: A Season of Performing Arts 2025”)	4月4日(金)、 5日(土) (2公演)	大館 (TAI KWUN) (香港)	—	145人 (160人)
	平成28年に愛知県芸術劇場プロデュースで制作し、平成29年に県内外5箇所10公演、令和元年に横浜、富山、パリ、令和6年に北九州と山形で上演した、ダンサーの島地保武とラッパーの環 ROY の共同制作作品を香港で上演しました。			
公演 高槻城公園芸術文化劇場×愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2025 in Takatsuki (主催：公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団)	4月26日(土)、 27日(日) (2公演)	高槻城公園芸術文化劇場 (大阪府)	—	210人 (240人)
	当劇場が共同制作したダンス作品～岡田利規(演出)と酒井はな(ダンス)が古典バレエの名作をYouTuberとして披露する『ジゼルのあらすじ』と、島地保武(ダンス)と環 ROY(ラップ)による「哲学的コント」とも呼べる『あいのて』を再演しました。			
普及啓発 THE オルガン NIGHT 2025	5月2日(金) (1公演)	コンサート ホール	95%	649人 (1,214人)
	10年以上続くパイプオルガンのコンサートで、山口綾規のパイプオルガンの独奏に加え、酒井はな及び島地保武のダンスと共演するプログラムを行いました。			
人材育成・公演 Null 新作 ①愛知県芸術劇場ダンスアーティスト Null ワークインプログレス ②YPAM DaBY スタジオプレゼンテーション	①6月21日(土) (1公演) ②12月6日(土)、 7日(日) (2公演)	①大りハーサル室 他 ②Dance Base Yokohama	①100% ②—	①58人 (58人) ②46人 (56人)
	愛知県芸術劇場ダンスアーティストで、愛知県にゆかりのある若手ダンスグループ Null の創作過程を公開するワークインプログレスを行いました。また YPAM(横浜国際舞台芸術ミーティング)にて、国内外の舞台芸術関係者にプレゼンテーションを行いました。			
人材育成 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 愛知県芸術劇場 ダンスアーティストによる〈Special stage〉 ①三東瑠璃 ②Null	8月15日(金) (4公演)	愛知芸術文化センターオーブンスペース	85%	①186人 (-人) ②179人 (-人)
	新しい人材・才能を公募により発掘し、舞台作品を上演する実演団体やアーティストを支援するプロジェクト「AICHI NEXT」に合わせて、三東瑠璃及び Null によるショーパフォーマンスを無料で開催しました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 ダンス作品兼演劇作品 『ダンスの審査員のダンス』	9月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール	90%	379人 (498人)
	現代演劇の最前線に立ち、海外でも高い評価を受けている演劇作家の岡田利規が手掛ける演劇とダンスの新作。国内外で活躍する注目のダンサー、俳優、気鋭の音楽家や舞台美術家が出たジャンルを越えたコラボレーションプロジェクトです。愛知県芸術劇場の唐津絵理が統括プロデューサーを務めました。当劇場での初演後、国内4会場で上演しました。			
公演 三東瑠璃『満ちる』 ①愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama×メニコンシアター Aoi パフォーミングアーツ・セレクション 2025 Festival Edition ②YPAM DaBY スタジオプレゼンテーション	①10月30日(木) (2公演) ②12月6日(土)、 7日(日) (2公演)	①大りハーサル室 ②Dance Base Yokohama	—	①139人 (162人) ②58人 (78人)
	愛知県芸術劇場ダンスアーティストの三東瑠璃が、就任以来、初めて創作した作品『満ちる』を発表しました。またYPAM(横浜国際舞台芸術ミーティング)にて、国内外の舞台芸術関係者にプレゼンテーションを行いました。			
公演 酒井はな×岡田利規『ジゼルのあらすじ』	2月6日(土)、 7日(日) (2公演)	タリア公共劇場(ドイツ・ハンプルク)	—	288人 (288人)
	2024年にDance Base Yokohamaと共同製作したダンス作品『ジゼルのあらすじ』を、ドイツ・ハンプルクのタリア公共劇場で開催された演劇祭「Lessingtage(レッシングターゲ)2026」で上演しました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略

※定員数について、「—」とあるものは定員の設定なし。

2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演

つくる みる

日本を代表するダンスアーティストたちによるジャンル横断型舞台作品などの創作初演を行うとともに、Dance Base Yokohama との連携や、公募プログラムなど、多彩なラインナップをお届けしました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
人材育成 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project ①「Challenge stage」 ・永田 佳暖『モチャカル!!』 ・ぬくみ『スクール・デイズ』 ・VIVE『NO IMAGE』 ②「Advance stage」 ・敷地 理『ユアファントムアイ、アワクリスタライズペイン / ur phantom eyes, our crystallized pains』 ③「Advance stage」 ・ハイドロブラスト 『最後の芸者たち リクリエーション版』 ④「Challenge stage+」 ・辻 将成『ゼロボックス』	①8月15日(金) (6公演) ②8月15日(金)、 16日(土) (2公演) ③9月6日(土)、 7日(日) (2公演) ④9月6日(土)、 7日(日) (4公演)	①愛知芸術文化センターオープンスペース、コンサートホール ②③小ホール ④大リハーサル室	85%	①498人 (-) ②152人 (236人) ③141人 (180人) ④166人 (208人)
新しい人材・才能を公募により発掘し、舞台作品を上演する実演団体やアーティストを支援するプロジェクト。「Challenge stage」では、東海圏にゆかりのある若手アーティストが、「Advance stage」では、全国から公募した次代を担うアーティストが作品を上演しました。				
普及啓発 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 関連企画 6 作品ハシゴ観覧ツアー ①「Challenge stage」 ・永田 佳暖『モチャカル!!』 ・ぬくみ『スクール・デイズ』 ・VIVE『NO IMAGE』 ②「Advance stage」 ・敷地 理『ユアファントムアイ、アワクリスタライズペイン / ur phantom eyes, our crystallized pains』 ③「Special stage」 ・三東瑠璃 ・Null	8月15日(金)	①愛知芸術文化センターオープンスペース、コンサートホール ②小ホール ③愛知芸術文化センターオープンスペース	—	受講 18人 (募集 20人)

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
人材育成 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 関連企画 ①敷地理ダンスワークショップ ②城崎温泉“最後の芸者”秀美による 芸者文化レクチャートーク	①8月17日(日) ②9月7日(日)	①中リハーサル室 ②アートスペース EF	—	①受講 11 人 (募集 15 人) ②受講 8 人 (募集 15 人)
公演 【再掲】 ダンス作品兼演劇作品 『ダンスの審査員のダンス』	9月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール	90%	379 人 (498 人)
公演 【①三東瑠璃『満ちる』再掲】 愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama ×メニコン シアター Aoi パフォーミングアーツ・セレクション 2025 Festival Edition ①三東瑠璃『満ちる』 ②A プログラム ・阿目虎南『R/evolution(s)』 ・小野彩加 中澤陽 スペースノットブラン ク『ダンス作品第3番：志賀直哉 「城の崎にて」』 ③柿崎麻莉子『hopee』 ④B プログラム ・岩渕貞太『大いなる午後:the soft machine xxx』 ・高橋萌登『仄仄(ほのぼの)』	①10月30日(木) (2公演) ②10月31日(金)、 11月1日(土) (2公演) ③11月1日(土)、 2日(日) (2公演) ④11月1日(土)、 2日(日) (2公演)	①大リハーサル室 ②小ホール ③中リハーサル室 ④メニコンシ アターAoi	—	①139 人 (162 人) ②194 人 (296 人) ③138 人 (139 人) ④155 人 (494 人)
公演 第 22 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『とりで』	12月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール	—	325 人 (351 人)
上演を前提にした AAF 戯曲賞の受賞作品を舞台化。村社祐太朗による「陸の孤島」と呼ばれる住宅地の空気と家庭での会話が描かれる作品です。演出は名古屋の小劇場を中心に活動する澄井葵と、演劇を広義に捉えた活動を各地で行う羽鳥嘉郎が務め、同戯曲賞公演としては初めて、2人の演出家が異なる視点でそれぞれ作品を演出しました。				

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 ピアノ・ツィルクス～5台ピアノの世界 in 愛知県芸術劇場	3月7日(土) (1公演)	コンサート ホール	91%	1,168人 (1,334人)
	スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハのフル・コンサート・グランドピアノ計5台がステージ上に並ぶコンサート。白石光隆と田村緑、中川賢一、デュエットウかなえ&ゆかりという手練れのピアニストたちがフル・オーケストラを凌駕するほどの轟音と美しく繊細な音色を奏でました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略

※定員数について、「－」とあるものは定員の設定なし。

3 パイプオルガンを活かした公演・人材育成・普及教育事業

みる **ひろげる** **そだてる・つなぐ**

初心者からコアファンまで多様な観客に向けた特徴あるオルガン・コンサートを行うとともに、若手のオルガニスト養成事業を継続して実施し、オルガン事業をさらに充実させました。

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
人材育成 オルガニスト養成事業 集まれ、未来のオルガニスト 2025	①上半期 4月10日(木) ～9月23日(火・祝) ②下半期 10月9日(木) ～3月10日(火)	コンサート ホール	①－ ②－	①受講6人 (募集5人) ②受講7人 (募集5人)
	将来、この地域からオルガニストが誕生するきっかけになることを目指して、2018年度からスタートした講座。愛知県芸術劇場オルガニストが、コンサートホールの大オルガンを使って、オルガン演奏の基礎をじっくりと個別指導しました。			
普及啓発 【THE オルガン NIGHT 2025 再掲】 THE オルガン NIGHT&DAY 2025	5月2日(金)、 3(土・祝) (3公演)	コンサート ホール	95%	2,158人 (3,654人)
	「短めのプログラム」、「出かけやすい時間」、「ワンコイン」と、“手軽さ”を追求した10年以上続くパイプオルガンのコンサート。今回はクラシックやジャズなど、多彩なレパートリーと音楽知識に定評のあるオルガニスト山口綾規が出演し、耳馴染みのある名曲や、子どもに人気の曲を演奏しました。NIGHTでは、劇場ダンスアーティストと、DAYでは打楽器奏者と共演しました。			
公演 オルガン・レクチャーコンサート ～ウィーン音楽散歩～	8月27日(水) (1公演)	コンサート ホール	89%	733人 (984人)
	映像と解説を交えたコンサート。愛知県芸術劇場オルガニストの都築由理江が出演し、日頃から当劇場のオルガンの弾き込みや企画に携わる都築ならではの視点や知識を用いて、ウィーンにゆかりのある作曲家の作品を、オルガンのことをもっと知りたい人に向け、演奏・解説を行いました。			
公演 オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(木) (2公演)	コンサート ホール	96%	1,287人 (1,890人)
	パイプオルガン初級者から中級者へのステップアップにつながる、数々の名曲とともにオルガンの魅力を約1時間でお届けするコンサート。演奏は、2024年に松本市音楽文化ホールのホールオルガニストに就任した山田由希子。数々の国際的なコンクールで入賞を果たし、ヨーロッパやアジアの15か国以上で演奏会を行った実績あるオルガン演奏を披露しました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
普及啓発（学校招待公演） 愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2025 絵本×朗読×パイプオルガン 『終わらない夜』	11月12日(水) (2公演)	コンサート ホール	—	866人 (1,143人)
	カナダのトリックアート画家が手がけた絵本をもとに、当劇場が創作したオルガンプログラム。絵本を映像投影しながら、本コンサートのために作曲されたオリジナルのオルガン曲を中心にお届けする1時間のコンサート。演奏は国内で広く活躍する勝山雅世、朗読は女優の藤井咲有里が務めました。 県内小学校6年生～高校3年生を対象に、学校または学年単位で招待しました。			
公演 クリスマスはオルガンだ！2025 ～オルガン・アンサンブルで聴く パイプオルガンの響き～	12月24日(水)、 25日(木) (2公演)	コンサート ホール	96%	2,435人 (2,818人)
	華やかな冬の音楽と本格的なクラシックを堪能いただけるコンサート。東京芸術劇場のオルガニストとして約30年にわたりオルガン本来の魅力が伝わる音楽を紹介することに注力し、現在は同劇場でオルガン・アドバイザーを務める小林英之が演奏しました。奏者の手元や足元を大型スクリーンに投影する演出もお楽しみいただきました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略

4 あらゆる人に芸術の豊かさを体験する機会を提供

つくる ひろげる

芸術の豊かさを手軽に体験し、触発される機会を提供することで、観客層の拡大につなげます。また、小学生から高校生までの子どもたちを招待し、一流の作品に触れる機会を創出する「劇場と子ども7万人プロジェクト」を継続して実施しました。

(1) 様々な方々が劇場に足を運び芸術と出会う体験型事業

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
事業概要				
普及啓発 愛知県芸術劇場オープンハウス ①大ホール自由見学 ②大ホール舞台カラクリ SHOW ③小ホール自由見学	4月29日(火・祝)	大ホール、 小ホール	94%	①1,046人 (-人) ②65人 (60人) ③641人 (-人)
	劇場を一日無料開放して、大ホール及び小ホールの舞台や客席、ビュッフェを自由に見学いただきました。その中で劇場ダンスアーティストが舞台、ロビー、楽屋等でパフォーマンスを繰り広げ、間近にダンスに出会っていただきました。また、照明、舞台機構など舞台の仕掛けを、ショー形式でお楽しみいただきました。			
普及啓発 赤ちゃん和踊ろう	5月25日(日)、 26日(月) (4回)	大リハーサル室	100%	23組 (40組)
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流できるダンスワークショップを実施しました。抱っこやおんぶをしながらリズムに合わせて踊ったり、ストレッチしたりして、身体も心もリフレッシュいただけました。			
普及啓発 普及啓発プログラム ① アクラム・カーン『ジャングル・ブック』 関連企画ダンスワークショップ (学校アウトリーチ) ② アクラム・カーン『ジャングル・ブック』 関連企画ダンスワークショップ ③ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』関連企画ワークショップ【ワークショップA】健康のためのダンスワークショップ ④ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』関連企画ワークショップ【ワークショップB】大人のバレエクラス ⑤『CLUB ORIGAMI(クラブオリガミ)』関連企画 CLUB ORIGAMI ワークショップ ⑥ピアノ・ツィルクス 5台ピアノの世界 in 愛知県芸術劇場 事前レクチャー	①6月25日(水) ②6月26日(木) ③7月8日(火) ④7月8日(火) ⑤7月25日(金) ⑥2月15日(日)	①名古屋市立 若水中学校・ 同朋高校 ②大リハーサル室 ③大リハーサル室 ④大リハーサル室 ⑤中リハーサル室 ⑥大リハーサル室	①- ②- ③- ④- ⑤- ⑥-	①受講49人 (募集 -人) ②受講22人 (募集20人) ③受講16人 (募集20人) ④受講8人 (募集20人) ⑤受講24人 (募集30人) ⑥受講42人 (募集60人)
	本公演の開催に合わせて、舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座やワークショップを開催しました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
普及啓発 多文化共生事業・インクルーシブプログラム ①多文化共生ワークショップ あいち多文化共生タウンミーティング &ダンスワークショップ ②ケアについて考える演劇ワークショップ 聞くことと演劇 クライエントの言葉に何を思うか ③多文化共生ワークショップ	①7月12日(土) ②11月22日(土) ③2月13日(金)	①愛・地球博記念公園(モリコロパーク) 地球市民交流センター 体験学習室1 ②大リハーサル室 ③ネパール人学校 TOKAI BATIKA INTERNATIONAL SCHOOL	①－ ②－ ③－	①19人 (20人) ②38人 (30人) ③40人 (－人)
①日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しみ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、子どもと一緒に楽しめるワークショップ等を開催しました。 ②精神保健福祉士の資格をもち、ソーシャルワーカーとして精神科医療や家庭支援にも携わっている村社祐太郎(第22回AAF戯曲賞受賞記念公演『とりで』作者)による「聞く」ことに焦点をあてたワークショップを開催しました。 ③舞台音楽家の棚川寛子を講師に、音に合わせて身体を動かすゲームや、「ひらがな」を使った言葉遊び、動物ジェスチャークイズを通して、音楽・言葉・身体表現を楽しみながら、様々なコミュニケーションの方法を体験するワークショップを実施しました。				

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
普及啓発 CLUB ORIGAMI (クラブ オリガミ)	7月23日(水)、 24日(木) (4公演)	小ホール	90%	415人 (428人)
	7月27日(日) (2公演)	ゆめたろう プラザ(武豊 町民会館)	—	164人 (226人)
	7月29日(火) (2公演)	名古屋市瑞 穂文化小劇 場	—	221人 (212人)
	7月31日(木) (2公演)	名古屋文理 大学文化フ ォーラム(稲 沢市民会館)	—	96人 (230人)
	8月2日(土) (2公演)	碧南市芸術 文化ホール	—	178人 (180人)
	8月5日(火) (2公演)	穂の国とよ はし芸術劇 場 PLAT	—	264人 (306人)
	8月7日(木) (2公演)	蒲郡市民会 館	—	172人 (184人)
	子どもから大人までが楽しめる折り紙をモチーフにした参加型パフォーマンスを実施しました。巨大な紙を使って、丸めたり、ビリビリ破いたりしながら、ファッション・ダンス・生演奏が一体となったパフォーマンスをお楽しみいただきました。			
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 「Challenge stage」 ・永田 佳暖『モチャカル!!』 ・ぬくみ『スクール・デイズ』 ・VIVE『NO IMAGE』	8月15日(金) (6公演)	愛知芸術文 化センター オープンス ペース、コン サートホー ル	85%	498人 (—人)
普及啓発 げきじょうたんけんツアー	8月21日(木) (5回)	大ホール	100%	266人 (300人)
	普段は見るできない劇場の裏側を見学できるバックステージツアー。ジョニー隊長とジョニー副隊長(いずれも劇場スタッフ)と一緒に、2,480席を誇る中京圏最大級の大ホールの裏側を探る体験学習を実施しました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
普及啓発 栄北まちなか展開連携事業 ①『HIGASHI SAKURA BLOOMING ～まちづくりフェス～』POP UP OPERA ②OAR(ゼロ・エーアール)AR(拡張現実)の短編ダンス作品	①11月15日(土) ②11月28日(金) ～30日(日) (36回)	①プロッサ ②フォーラムⅡ	①－ ②－	①197人 (－人) ②174人 (－人)
	①『HIGASHI SAKURA BLOOMING ～まちづくりフェス～』の一環として、藤原歌劇団公演『妖精ヴィッリ』・『カヴァレリア・ルスティカーナ』の出演者による1日限りの特別ライブを開催しました。 ②現実の世界に3D CGのアートコンテンツを追加し、新感覚のアート体験ができるイベント『OAR(ゼロ・エーアール)』を、愛知芸術文化センターのフォーラムⅡで開催しました。			
普及啓発 芸術監督クロストーク MIKIKO×唐津絵理	3月1日(日) (1回)	アートスペースA	90%	159人 (200人)
	芸術監督唐津絵理が、多様なジャンルの専門家を迎えて行うクロストークシリーズ。演出振付家、ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」主宰のMIKIKOをゲストに、ダンスの話題にとどまらず、身体の捉え方、創作の背景、社会とのつながりなど、幅広い視点から掘り下げました。			
普及啓発 ダンス・スコレ特別講座シンポジウム 「ダンスと写真—アヴァンギャルドの時代における複製された身体」	3月21日(土) (1回)	アートスペースA	—	86人 (180人)
	踊る身体と、写真という新しいメディアとの関係を、研究者が貴重な映像を交えて詳しく解説しました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

※定員数について、「—」とあるものは定員の設定なし。

(2) 小～高校生招待鑑賞「劇場と子ども7万人プロジェクト」

事業名		開催日	会場	参加者数 (定員数)
事業概要				
普及啓発 【再掲】 で 個 招 人 待 単 位	アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』	6月28日(土) (1公演)	大ホール	子ども招待者 136人 (募集 150人) (来場者 1,001人) 全体数は p6
	オルガン・レクチャーコンサート ～ウィーン音楽散歩～	8月27日(水) (1公演)	コンサート ホール	子ども招待者 45人 (募集 50人) (来場者 733人) 全体数は p12
	ダンス作品兼演劇作品 『ダンスの審査員のダンス』	9月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール	子ども招待者 9人 (募集 10人) (来場者 379人) 全体数は p8
	オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(木) (2公演)	コンサート ホール	子ども招待者 50人 (募集 80人) (来場者 1,287人) 全体数は p12
	ネザーランド・ダンス・シアター (NDT 2) 来日公演 2025	11月24日(月・休) (1公演)	大ホール	子ども招待者 75人 (募集 100人) (来場者 1,244人) 全体数は p6
	第22回 AAF 戯曲賞受賞記念 公演 『とりで』	12月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール	子ども招待者 16人 (募集 30人) (来場者 325人) 全体数は p10
	クリスマスはオルガンだ！ 2025 ～オルガン・アンサンブルで 聴くパイプオルガンの響き～	12月24日(水)、 25日(木) (2公演)	コンサート ホール	子ども招待者 62人 (募集 100人) (来場者 2,435人) 全体数は p13
	ピアノ・ツィルクス ～5台ピアノの世界 in 愛知県芸術劇場	3月7日(土) (1公演)	コンサート ホール	子ども招待者 66人 (募集 100人) (来場者 1,168人) 全体数は p11
普及啓発 (学校招待公演) 【再掲】 愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2025 絵本×朗読×パイプオルガン 『終わらない夜』		11月12日(水) (2公演)	コンサート ホール	866人 (定員 1,143人)
普及啓発 (学校招待公演) 愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2025 ニッセイ名作シリーズ 2025 舞台版『せかいいちのねこ』		1月28日(水) (2公演)	大ホール	1,653人 (定員 2,146人)
		画家ヒグチユウコの心温まる絵本を舞台化。本物の猫になりたいと願うぬいぐるみが、旅先で出会う猫たちの優しさに触れながら幸せを見つけます。表情豊かな人形とダンサーたちが、絵本の優しく切ない世界を描きました。 県内小学校3年生～6年生を対象に、学校または学年単位で招待しました。		

5 地域文化力の向上

ひろげる そだてる・つなぐ みる

市町村劇場と連携した県内ツアーや、民間事業者との芸術性・話題性の高い連携公演を行うとともに、インターンシップ等でスタッフ人材養成事業を実施し、地域全体の文化力を向上させました。

(1) 国内/地域の劇場や民間事業者との連携による公演事業

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
普及啓発 【再掲】 CLUB ORIGAMI (クラブ オリガミ)	7月23日(水)、 24日(木) (4公演)	小ホール	90%	415人 (428人)
	7月27日(日) (2公演)	ゆめたろうプ ラザ(武豊町 民会館)	—	164人 (226人)
	7月29日(火) (2公演)	名古屋市瑞穂 文化小劇場	—	221人 (212人)
	7月31日(木) (2公演)	名古屋文理大 学文化フォー ラム(稲沢市 民会館)	—	96人 (230人)
	8月2日(土) (2公演)	碧南市芸術文 化ホール	—	178人 (180人)
	8月5日(火) (2公演)	穂の国とよは し芸術劇場 PLAT	—	264人 (306人)
	8月7日(木) (2公演)	蒲郡市民会館	—	172人 (184人)
公演 東京二期会オペラ劇場 『イオランタ／くるみ割り人形』 日本語字幕付原語(ロシア語)上演 <新制作>	7月26日(土) (1公演)	大ホール	—	822人 (1,861人)
	1953年の発足以来、古典から現代に至るまで世界のオペラを上演し続けてきた東京二期会による公演。今回は、チャイコフスキーが手掛けたオペラと、バレエの傑作が融合した新しい舞台作品を上演しました。			
公演 愛知4大オーケストラ・フェスティヴァ ル2025『ブラームス 交響曲全曲演奏会』	8月31日(日) (1公演)	コンサート ホール	—	1,704人 (1,800人)
	愛知を拠点に活動する愛知室内オーケストラ、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団の4団体が当劇場コンサートホールに会するスペシャルコンサート。各音楽監督・芸術監督とともにブラームスの交響曲全曲を演奏しました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 第46回中部バレエフェスティバル 『眠れる森の美女』 (全3幕プロローグ付き)	10月5日(日) (1公演)	大ホール	—	2,076人 (2,304人)
	古典バレエの名作を地元のバレエ団と創り上げるダンス公演。振付はバーミンガム・ロイヤル・バレエ団(英国)のソリストとして活躍した山本康介が務め、持ち前のエネルギーで豊富なアイデアを活かしながら、オーディションで選ばれたダンサーたちと舞台を創り上げました。			
公演 八木美知依 箏の世界 音と声	11月3日(月・祝) (1公演)	小ホール	—	222人 (250人)
	ハイパー箏奏者、八木美知依による箏の新しい世界。特別ゲストに名古屋市出身の俳優、竹下景子を迎えて、後半は箏と朗読をお届けしました。			
公演 ニンフェアール第21回公演 「枯淡の美」 ～薩摩琵琶とフルートによる	11月16日(日) (1公演)	中リハーサル室	—	75人 (88人)
	名古屋を拠点に活動する作曲家・伊藤美由紀による現代音楽プロジェクト「ニンフェアール」の第21回公演。薩摩琵琶という日本の伝統楽器に焦点をあて、薩摩琵琶とフルートによる珍しい編成で、古典と現代作品によるユニークな音響空間を体験いただきました。			
公演 愛知県立芸術大学管弦楽団 第36回定期演奏会	11月22日(土) (1公演)	コンサート ホール	—	698人 (1,078人)
	東海地方唯一の公立芸術大学オーケストラによる定期演奏会。バルセロナ交響楽団音楽監督を務めた実績を持ち、現在は大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー名誉指揮者の大植英次が指揮を務めました。			
公演 Crossboundary XIII ～ルネサンス・ハー プの革命「DIMINUTIONS」	12月6日(土) (1公演)	小ホール	—	151人 (156人)
	16世紀末に登場したクロマティックハープ「アルパ・ドッピア」という楽器を使って、当時ポピュラーだったマドリガルやシャンソンといった歌曲と、それに呼応するように現代作曲家が作曲した作品を演奏しました。			
公演 藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲『妖精ヴィッリ』 (オペラ全2幕) マスカーニ作曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』(オペラ全1幕) 〈字幕付き原語上演〉 ニュープロダクション	2月7日(土) (1公演)	大ホール	64%	1,196人 (1,370人)
	日本で最も歴史のあるオペラ団体の愛知公演。今回は、2人のイタリアの作曲家によるオペラを上演しました。演目はプッチーニが初めて作曲したオペラで、1986年に藤原歌劇団が日本初演した『妖精ヴィッリ』と、マスカーニが作曲したヴェリズモ・オペラ(庶民の日常生活で起こる事件等をテーマとしたオペラ)の代表作とも言える『カヴァレリア・ルスティカーナ』をダブル・ビルでお届けしました。			

事業名	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
	事業概要			
公演 IANNIS XENAKIS PSAPPHA 加藤訓子（パーカッション）＋ 中村恩恵（ダンス）	3月25日(水) (1公演)	小ホール	－	127人 (138人)
	愛知県出身の加藤訓子（パーカッション）と、中村恩恵（ダンス）が現代音楽の作曲家クセナキスの初期打楽器ソロ作品「PSAPPHA(プサッフア)」に挑みました。古代ギリシアの女性詩人サッフォーの視点から生まれる感情や経験から着想を得た2名の女性アーティストが創り上げる音楽の情景に詩的叙事詩、身体が交錯する世界をお楽しみいただきました。			

※来場者満足度欄について、回答率5%以下の場合は記載を省略。

(2) 人材養成事業

事業名	開催日	会場	参加者数 (定員数)
	事業概要		
人材育成 【再掲】 オルガニスト養成事業 集まれ、未来のオルガニスト 2025	①上半期 4月10日(木) ~9月23日(火・祝) ②下半期 10月9日(木) ~3月10日(火)	コンサートホール	①受講6人 (募集5人) ②受講7人 (募集5人)
人材育成 愛公文セミナー	6月5日(木)、 7月17日(木)、 8月29日(金)	アートスペースA	17館27人 20館32人 20館31人 (募集各60人)
人材育成 ダンサー養成事業 ①ヒューストン・バレエアカデミー ワークショップ&短期留学オーディション in 名古屋 ②Ballet & Contemporary Intensive in 名古屋 ③島地保武ワークショップ	①7月13日(日) ②8月19日(火)~ 22日(金) ③3月20日(金・祝)	①大リハーサル室 ②中リハーサル室 ③大リハーサル室	①受講28人 (募集-人) ②受講37人、 見学64人 (募集-人) ③受講44人 (募集-人)
	国内外で活躍する第一線のダンサーを講師に、多彩なダンスのワークショップを実施しました。		
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project ①「Challenge stage」 ・永田 佳暖『モチヤカル!!』 ・ぬくみ『スクール・デイズ』 ・VIVE『NO IMAGE』 ②「Advance stage」 ・敷地 理『ユアファントムアイ、ア ワクリスタライズペイン / ur phantom eyes, our crystallized pains』 ③「Advance stage」 ・ハイドロブラスト 『最後の芸者たち リクリエーション版』 ④「Challenge stage+」 ・辻 将成『ゼロボックス』	①8月15日(金) (6公演) ②8月15日(金)、 16日(土) (2公演) ③9月6日(土)、 7日(日) (2公演) ④9月6日(土)、 7日(日) (4公演)	①愛知芸術文化 センターオープ ンスペース、コ ンサートホール ②③小ホール ④大リハーサル室	①観客498人 (定員-人) ②観客152人 (定員236人) ③観客141人 (定員180人) ④観客166人 (定員208人)

事業名		開催日	会場	参加者数 (定員数)
事業概要				
普及啓発	舞台芸術人材養成ラボ 舞台芸術インターンシップ	7月～3月 (オンライン説明会 6月6日(金))	愛知県芸術劇場 他	受講 15 人 (募集 10 人)
		講座形式の座学と、自主事業・公演での実習を交えながら学ぶインターンシップ。企画制作と舞台技術の2コースに分かれ、各参加者が自分の興味対象に合わせて専門的な知識を身に付けられるよう工夫しました。		
	舞台芸術人材養成ラボ 学生インターンシップ	8月19日(火) ～21日(木)	アートスペース EF 他	受講 42 人 (募集 20 人)
		東海三県（愛知県、岐阜県、三重県）に在住・在学等の高校生・大学生などを対象に、劇場の業務を知る入門インターンシップを開催しました。		
	劇場職員セミナー (名古屋市文化振興事業団 と共同主催、愛知県及び名古屋 市が共催)	1月14日(水) ～16日(金) (動画配信は2月上旬から)	アートスペース A、EF 他 オンライン	延べ 678 人 (定員-人) 録画配信申込者 447 人
		劇場職員の専門性やスキルアップ、情報共有、交流を目的に、3日間にわたり複数のプログラムで講演やグループワーク、実習を行いました。		
舞台芸術人材養成ラボ 舞台芸術お仕事ガイダンス	3月14日(土)	アートスペース A	受講 30 人 (定員-人)	
	劇場や舞台芸術に関わるさまざまな仕事について紹介するセミナーを開催しました。			
人材育成	集まれ、未来のオルガニスト 2025 修了試演会	①上半期 9月25日(木)	コンサート ホール	①観客 97 人 (定員 388 人)
		②下半期 3月26日(木)		②観客 110 人 (定員 388 人)
		オルガニスト養成事業でオルガンに取り組んできた受講生の成果を披露する演奏会を開催しました。		
人材育成	第 23 回 AAF 戯曲賞募集・選考	募集開始：10 月 最終審査会：2026 年 5 月 (予定)	アートスペース 他	募集 259 件
		2000 年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。 今年度は、戯曲の募集と選考を行いました。		

※定員数について、「-」とあるものは定員の設定なし。

6 地域社会の課題解決に向けた取り組み

ひろげる そだてる・つなぐ

舞台芸術の特徴を活かし、コミュニケーションを重視したプログラムを通して交流することで、地域力の向上に貢献しました。

事業名	開催日	会場	参加者数 (定員数)
			事業概要
普及啓発 【再掲】 赤ちゃんとおどろろ	5月25日(日)、 26日(月) (4回)	大リハーサル 室	23組 (40組)
普及啓発 【再掲】 アクラム・カーン『ジャングル・ブック』 関連企画ダンスワークショップ (学校アウトリーチ)	6月25日(水)	①名古屋市立 若水中学校 ②同朋高校	①32人 (-人) ②17人 (-人)
普及啓発 【再掲】 多文化共生事業・インクルーシブプロ グラム ①多文化共生ワークショップ あいち多文化共生タウンミーティング &ダンスワークショップ ②ケアについて考える演劇ワークショ ップ 聞くことと演劇 クライエントの 言葉に何を思うか ③多文化共生ワークショップ	①7月12日(土) ②11月22日(土) ③2月13日(金)	①愛・地球博 記念公園(モ リコロパー ク)地球市民 交流センター 体験学習室1 ②大リハーサ ル室 ③ネパール 人学校 TOKAI BATIKA INTERNATIONAL SCHOOL	①19人 (20人) ②38人 (30人) ③40人 (-人)
普及啓発 【再掲】 栄北まちなか展開連携事業 ①『HIGASHI SAKURA BLOOMING ~まち づくりフェス~』POP UP OPERA ②OAR(ゼロ・エアー)の AR(拡張現実)の短編ダンス作品	①11月15日(土) ②11月28日(金) ~30日(日) (36回)	①ブロッサ ②フォーラムII	①197人 (-人) ②174人 (-人)

事業名		開催日	会場	参加者数 (定員数)
事業概要				
普及啓発 来づ らい 人 の た め の サ ポ ー ト 障 が い 者 及 び 劇 場 に	【タブレット字幕設置】 ① THE オルガン NIGHT & DAY 2025 ② オルガン・レクチャーコンサート～ウィーン音楽散歩～ ③ 第22回 AAF 戯曲賞受賞記念公演『とりで』	① 5月2日(金)、3日(土) ② 8月27日(水) ③ 12月19日(金)～21日(日)	① コンサートホール ② コンサートホール ③ 小ホール	① 利用者0人 (来場者 2,158人) 全体数は p12 ② 利用者3人 (来場者 733人) 全体数は p12 ③ 利用者1人 (来場者 325人) 全体数は p10
	【ヒアリンググループ設置】 ① THE オルガン NIGHT & DAY 2025 ② アクラム・カーン『ジャングル・ブック』 ③ オルガン・レクチャーコンサート～ウィーン音楽散歩～ ④ ネザーランド・ダンス・シアター (NDT 2) 来日公演 2025	① 5月2日(金)、3日(土) ② 6月28日(土) ③ 8月27日(水) ④ 11月24日(月・休)	①③ コンサートホール ②④ 大ホール	① 利用者0人 (来場者 2,158人) 全体数は p12 ② 利用者1人 (来場者 1,001人) 全体数は p6 ③ 利用者1人 (来場者 733人) 全体数は p12 ④ 利用者1人 (来場者 1,244人) 全体数は p6
	【点訳パンフレット設置】 ① THE オルガン NIGHT & DAY 2025 ② オルガン・レクチャーコンサート～ウィーン音楽散歩～ ③ クリスマスはオルガンだ！2025 ～オルガン・アンサンブルで聴くパイプオルガンの響き～	① 5月2日(金)、3日(土) ② 8月27日(水) ③ 12月24日(水)、25日(木)	コンサートホール	① 利用者0人 (来場者 2,158人) 全体数は p12 ② 利用者1人 (来場者 733人) 全体数は p12 ③ 利用者3人 (来場者 2,435人) 全体数は p13

※定員数について、「-」とあるものは定員の設定なし。

Ⅱ 広報等、連携・交流

1 広報等

(1) 広報

①情報紙「AAC journal」及び情報サイト「AAC タイム」の運営

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化活動に関する情報等を掲載した情報紙の発行及び情報サイトの運営を行っています。手に取ってもらいやすい情報紙を目指すとともに、情報サイトでは、芸術を気軽に楽しめるコンテンツの配信を行いました。

情報紙：芸術ファンに向けた内容を掲載し、県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等に配布。

情報サイト：芸術ビギナーに向けた内容を配信し、SNS による周知・拡散を行う。

<AAC journal 発行状況>

号	発行月	発行部数	概 要
Vol.124	R7.6	15,000 部	竹内栖鳳/愛知県芸術劇場ダンスアーティスト 他
Vol.125	R7.9	15,000 部	ネザーランド・ダンス・シアター (NDT 2) /国際芸術祭「あいち 2025」 他
Vol.126	R7.12	15,000 部	ゴッホ展/ピアノ・ツィルクス 他
Vol.127	R8.3	15,000 部	ローサス/歌川国芳展 他

②マスコミ等を通じた発信

芸術劇場で行われる各種公演や自主事業について多くの人に周知するため、マスコミ等を通じて情報発信を行いました。

全 678 件（告知 263 件、記事 350 件、広告 65 件）

③多様な情報発信

<SNS の状況>

媒 体	発信内容の対象	導入時期	アクセス数等
Facebook	芸術劇場	H26.4	フォロワー数 5,070 人
X (旧 Twitter)	芸術劇場	H26.4	フォロワー数 4,577 人
YouTube	芸術劇場	H26.10	チャンネル登録者 815 人 視聴回数 748,211 回
Instagram	芸文センター	R6.5	フォロワー数 1,223 人

(2) 販売促進

<愛知県芸術劇場メンバーズ>

主催公演の情報などを直接お伝えするといったダイレクトメール会員の特典に加え、チケットをインターネット上で購入できる仕組みを整え、運用しています。

会員数 27,750 名

(3) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページへの掲載・パンフレット配布の他、訪問によるご案内等を通じて賛助会員数の拡大を図りました。

2026 年度賛助会員の加入状況は、52 件 63 口となっています。

2025 年度賛助会員 支援メニュー	賛助金額(円/口)	加入状況 (括弧内は 2025 年度会員)
芸術文化事業コース	10 万円	26 件 28 口(24 件 27 口)
子どものための劇場プログラムコース	5 万円	14 件 15 口(13 件 14 口)
その他活動支援コース	5 千円	12 件 20 口(7 件 9 口)

(4) 調査・研究

劇場及びアールスペースの利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めています。

また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させています。

2 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」(アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟)に加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及びセンターの認知度向上を図っています。令和7年度は、10月21日～23日に開催された韓国大会に参加しました。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催しました。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

＜愛知県公立文化施設協議会＞

4/24(木) 役員会、総会、総会セミナー(セミナー参加者:21館25名)

6/5(木) 愛公文セミナーⅠ(参加者:17館27名)

7/17(木) 愛公文セミナーⅡ(参加者:20館32名)

8/29(金) 愛公文セミナーⅢ(参加者:20館31名)

(3) 職員の派遣

自治体や他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等の助言を実施しました。

区分	主な派遣先(出張)
助言・評価	愛知県、長久手市、半田市、岐阜市、公益財団法人豊田市文化振興財団、一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、公益社団法人全国公立文化施設協会、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、特定非営利活動法人ポパイ
講座、研修、セミナー(講師)	安城市、公益財団法人静岡県文化財団、EU・ジャパンフェスト日本委員会、玉川大学、公益社団法人全国公立文化施設協会、公益財団法人宮城県文化振興財団、特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋、公益財団法人鳥取県文化振興財団

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアールスペース

愛知県芸術劇場各ホール及びアールスペースの利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供しました。

(1) 芸術劇場の利用状況

芸術劇場各ホールの利用状況は、次のとおりです。

＜芸術劇場各ホールの利用状況＞

項 目	区 分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
利用率 (%)	大ホール	81.8	80.5	83.9	96.1
	コンサートホール	88.2	82.6	93.1	95.1
	小ホール	83.0	78.9	78.0	85.1
	3ホール平均	84.3	80.8	85.0	92.0
入場者 数 (人)	大ホール	241,454	213,004	313,091	382,834
	コンサートホール	201,638	170,515	246,982	262,967
	小ホール	24,545	18,313	30,097	33,274
	計	467,637	401,832	590,170	679,075

※ 利用率は、利用日数÷利用可能日。

※ 令和5年度は、エレベーター改修工事のため、大ホール・コンサートホールは1月4日から、小ホールは12月1日から3月31日まで休館。

(2) アールスペースの利用状況

アールスペース（催事室）の利用状況は、次のとおりです。

＜アールスペースの利用状況＞

項 目	区 分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
利用率 (%)	会議室利用	57.1	49.9	52.6	49.3
	展示室利用	73.1	52.2	65.0	71.7
	平均	63.1	50.8	57.1	57.6
入場者数(人)	全 体	74,243	60,286	65,708	74,434

※ 利用率は、利用日数÷利用可能日。

(3) 利用料金収入の状況

(円)

項 目	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
3 ホール (リハーサル室含む)	374,017,560	290,311,410	415,112,810	436,797,830
アートスペース	19,754,720	13,167,080	15,448,190	16,569,650
合 計 (A)	393,772,280	303,478,490	430,561,000	453,367,480
予 算 (B)	436,011,000	323,735,000	389,611,000	408,179,000
差 額 (A) - (B)	△42,238,720	△20,256,510	40,950,000	45,188,480
(A) / (B)	90.3%	93.7%	110.5%	111.1%

※ 令和5年度は、エレベーター改修工事のため、大ホール・コンサートホールは1月4日から、小ホールは12月1日から3月31日まで休館。

※ 令和6年度以降の利用料金収入には、後納、キャッシュレスの未収金を含む。

2 アートプラザ

美術、音楽、演劇などに関する多様な芸術文化情報を、様々な媒体を通じて県民に提供する情報発信拠点として、県民の皆様に気軽に利用していただけるような運営に努めました。

入場者数 260,646 人

3 愛知芸術文化センター全体

芸文センター全体の広報活動や、アートプラザの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行っています。

また、利用者の安全性の確保を第一に考えた防火・防災体制の強化を行うとともに、皆様に安心して利用していただける施設環境の整備に努めました。

(1) 施設管理

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行っています。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応しました。

(2) 防火・防災

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、引き続き防災プロジェクトチーム（防災 PT）による組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図りました。

<令和7年度防災 PT>

開催回数：12 回（月 1 回）

<避難経路ツアー>

開催時期：9/1（月）

参加者：芸文センター内で勤務する職員（委託業者含む）及び劇場ユーザーなど計 182 名

<消防・防災訓練>

開催時期：2/2（月）

参加者：芸文センター内で勤務する職員（委託業者、テナント含む）など計 164 名

<防火・防災講習>

6/19（木） 防災勉強会 74 名

9/18（木） 消火訓練 42 名

11/27（木） AED 講習 22 名

併せて、名古屋市の「伏見・栄地区都市再生安全確保計画」において、芸文センターが「一時退避場所及び退避施設」として登録されていることから、「退避施設開設・運営マニュアル」に基づき発災時に速やかに開設・運用できるよう職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図るために、訓練を実施しました。

＜退避施設設営訓練＞

開催時期等

- ・6/10（火）、大リハーサル室、参加者：防災 PT メンバー含む 64 名
- ・2/2（月）、中リハーサル室、参加者：防災 PT メンバー含む 164 名

（３）芸文センターの活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や共有スペースでのパフォーマンスなど、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開し、芸文センターの利用促進につなげてまいります。

事業名	実施状況
普及啓発 【再掲】 愛知県芸術劇場 オープンハウス ①大ホール自由見学 ②大ホール舞台カラクリ SHOW ③小ホール自由見学	大ホール、小ホール 4月29日(火・祝) ①1,046人 ②65人(定員60人) ③641人
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 「Challenge stage」 ・永田 佳暖『モチャカル!!』 ・ぬくみ『スクール・デイズ』 ・VIVE『NO IMAGE』	愛知芸術文化センターオープンスペース、コンサートホール 8月15日(金) (6公演) 498人
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 愛知県芸術劇場 ダンスアーティストによる 〈Special stage〉 ①三東瑠璃 ②Null	愛知芸術文化センターオープンスペース 8月15日(金) (4公演) 365人

また、地下2階フォーラムにフोटスポットとして設置しているパイプオルガンの1/4スケールの模型には、4月から7月21日までに15,803人の方にお立ち寄りいただきました。

なお、7月22日からは、国際芸術祭「あいち2025」の開催に向けて一時撤去しておりましたが、12月15日から再設置し、令和8年3月末までに13,960人の方にお立ち寄りいただきました。

Ⅳ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行いました。

1 ミュージアムショップ（10 階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせて、図録、絵はがき、オリジナルグッズ等の販売を行いました。

愛知県美術館及び芸文センターの認知度や集客を高めるため、美術館所蔵作品をモチーフにしたオリジナル商品を販売するとともに、来場者数や客層、企画展関連イベント等を踏まえた商品展開を徹底し、売上の増加を図りました。

2 プレイガイド（地下2 階）

事業団の主催事業をはじめ、近隣の劇場・ホールで行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行いました。

V 法人運営

1 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

会議名	開催日	議 案
臨時理事会	5/22(木)	1 令和7年5月臨時評議員会の開催について
通常理事会	6/4(水)	1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度収支決算について 3 令和7年度収支補正予算について 4 令和7年6月定時評議員会の開催について
臨時理事会	7/1(火)	1 常務理事の選定について
臨時理事会	10/24(金)	(報告事項) 令和7年度職務執行状況報告
臨時理事会	12/19(金)	1 令和7年12月臨時評議員会の開催について
臨時理事会	12/22(月)	1 理事の報酬の額について
通常理事会	3/6(金)	1 令和8年度事業計画について 2 令和8年度収支予算について 3 令和7年度収支補正予算について 4 公益財団法人愛知県文化振興事業団就業規程の一部改正について 5 理事の報酬の額について
臨時理事会	3/26(木)	1 令和8年3月臨時評議員会の開催について 2 公益財団法人愛知県文化振興事業団組織規程の一部改正について

(2) 評議員会

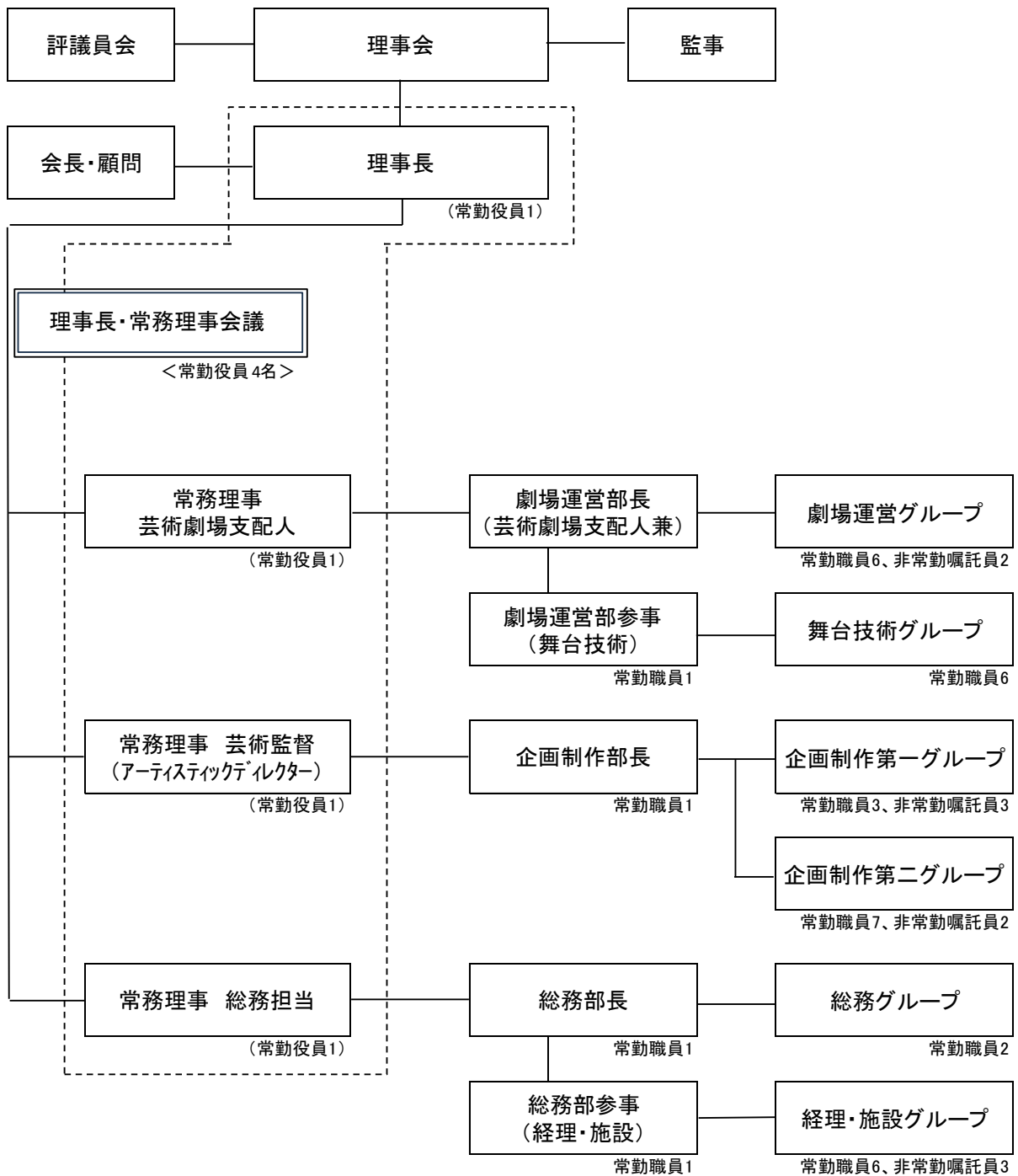
会議名	開催日	議 案
臨時評議員会	5/22(木)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について 3 評議員の選任について 4 評議員の選任について
定時評議員会	6/26(木)	1 令和6年度収支決算について 2 理事の選任について 3 監事の選任について 4 評議員の選任について
臨時評議員会	12/19(金)	1 公益財団法人愛知県文化振興事業団評議員、理事及び監事の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
臨時評議員会	3/26(木)	1 公益財団法人愛知県文化振興事業団定款の一部変更について 2 評議員の報酬の額について

2 法人の運営体制の充実を図るための取組

当事業団では、法人運営の透明性及び意思決定の適正性を確保するため、外部理事及び外部監事を選任し、第三者の視点による監督機能の強化を図っています。また、理事会についてはオンライン開催を継続して実施し、遠隔地の理事の参加を容易にすることで、理事会の活性化に資するとともに、組織全体の目標や方針に対する意識を一致させています。さらに、評議員会及び理事会資料は事前に送付する運用を徹底し、評議員、理事及び監事が事前に十分な検討を行える環境を整備しています。これらの取組により、会議での議論の質が向上し、透明性と説明責任を重視したガバナンス体制の維持に寄与しています。

3 組織体制（令和7年度末）

（1）令和7年度組織体制



（2）職員数

常勤役員	4名
職員	34名
嘱託員	10名
計	48名

Ⅵ 資料

別表1 愛知県芸術劇場の利用状況

別表2 アートスペース（催事室）の利用状況

愛知県芸術劇場の利用状況

別表 1

愛知県芸術劇場

(1) 時間帯別利用状況、入場者数

ア 大ホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	6年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
令和7年 4月	27	25	92.6	1	—	—	—	—	24	(6)	25	40,084	79.3	34,607
5月	24	24	100.0	—	1	—	—	—	23	(7)	24	34,770	72.7	27,719
6月	23	23	100.0	—	—	—	1	—	22	(7)	23	31,879	90.5	21,326
7月	23	21	91.3	—	—	—	—	—	21	(4)	21	20,288	88.5	26,564
8月	28	28	100.0	—	—	1	1	—	26	(1)	28	24,633	83.3	20,364
9月	24	21	87.5	—	—	—	1	1	19	(5)	21	47,769	87.5	32,392
10月	29	29	100.0	—	—	—	—	—	29	(6)	29	44,643	72.0	32,753
11月	26	26	100.0	—	—	—	—	—	26	(8)	26	37,462	71.4	20,438
12月	19	18	94.7	—	—	1	—	—	17	(8)	18	29,658	91.3	31,244
8年 1月	22	22	100.0	—	—	—	—	1	21	(3)	22	23,131	90.9	22,269
2月	16	16	100.0	—	—	—	—	—	16	(—)	16	15,092	84.2	14,582
3月	19	16	84.2	—	—	—	—	—	16	(6)	16	33,425	100.0	28,833
計	280	269	96.1	1	1	2	3	2	260	(61)	269	382,834	83.9	313,091
構成比				0.4%	0.4%	0.7%	1.1%	0.7%	96.7%		100.0%			
6年度実績	274	230	83.9	2	2	2	5	5	214	(50)	230	313,091		

- (注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。
2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
3 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。
4 以下イ～オの表においても、上記1，2，3のとおりである。

イ コンサートホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	6年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
令和7年 4月	24	21	87.5	—	—	2	1	4	15	(—)	22	21,779	90.9	16,553
5月	27	24	88.9	4	—	—	2	5	16	(2)	27	23,461	88.9	22,442
6月	22	19	86.4	1	—	1	4	5	10	(1)	21	16,234	82.6	18,796
7月	23	22	95.7	6	—	1	1	6	13	(1)	27	20,698	90.0	16,233
8月	26	23	88.5	—	—	3	6	3	14	(—)	26	22,184	96.2	23,241
9月	26	25	96.2	2	1	—	1	10	13	(—)	27	22,891	85.2	20,926
10月	25	25	100.0	1	—	5	6	4	15	(1)	31	26,696	96.2	22,319
11月	27	27	100.0	3	—	3	5	6	16	(2)	33	25,936	100.0	19,988
12月	24	24	100.0	2	—	2	1	1	21	(1)	27	21,220	100.0	27,125
8年 1月	21	21	100.0	2	—	3	4	6	11	(2)	26	23,428	100.0	19,775
2月	17	17	100.0	3	—	2	2	3	12	(—)	22	18,780	100.0	20,299
3月	26	26	100.0	1	—	2	4	5	15	(1)	27	19,660	88.0	19,285
計	288	274	95.1	25	1	24	37	58	171	(11)	316	262,967	93.1	246,982
構成比				7.9%	0.3%	7.6%	11.7%	18.4%	54.1%		100.0%			
6年度実績	288	268	93.1	12	5	14	36	55	169	(9)	291	246,982		

ウ 小ホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和7年 4月	25	12	48.0	—	—	1	2	1	8	(—)	12	2,492
5月	27	24	88.9	—	—	—	1	—	23	(—)	24	3,036
6月	25	22	88.0	—	—	—	—	1	21	(—)	22	3,539
7月	26	22	84.6	2	—	—	—	2	19	(—)	23	2,863
8月	28	25	89.3	—	1	—	4	1	19	(—)	25	4,658
9月	29	28	96.6	—	—	—	—	1	27	(—)	28	1,919
10月	28	28	100.0	—	—	—	—	—	28	(—)	28	2,776
11月	28	25	89.3	—	—	—	1	—	24	(—)	25	2,201
12月	23	17	73.9	—	—	1	3	2	12	(1)	18	1,814
8年 1月	21	16	76.2	1	—	1	2	—	12	(—)	16	2,191
2月	19	18	94.7	—	—	—	1	1	16	(—)	18	2,866
3月	23	20	87.0	—	—	—	1	2	17	(—)	20	2,919
計	302	257	85.1	3	1	3	15	11	226	(1)	259	33,274
構成比				1.2%	0.4%	1.2%	5.8%	4.2%	87.3%		100.0%	
6年度実績	296	231	78.0	3	0	3	16	8	203	(4)	233	30,097

6年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
69.2	2,908
65.5	2,536
75.0	3,368
73.9	2,548
85.7	3,478
66.7	3,180
81.5	2,795
96.4	2,324
87.0	2,825
61.1	987
81.0	1,182
90.9	1,966
78.0	30,097

エ 大リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和7年 4月	26	20	76.9	2	—	—	2	3	14	(—)	21	331
5月	29	20	69.0	3	1	—	4	3	11	(—)	22	264
6月	24	22	91.7	2	1	1	2	3	16	(—)	25	179
7月	27	24	88.9	1	—	1	3	2	18	(—)	25	537
8月	30	30	100.0	—	—	1	4	—	26	(—)	31	728
9月	27	26	96.3	—	—	1	1	—	24	(—)	26	229
10月	29	29	100.0	—	—	1	3	—	26	(—)	30	595
11月	28	19	67.9	2	—	1	4	3	11	(—)	21	501
12月	24	17	70.8	1	—	3	3	2	10	(—)	19	96
8年 1月	24	15	62.5	1	1	2	3	—	11	(—)	18	266
2月	24	18	75.0	2	—	2	1	1	14	(—)	20	114
3月	28	24	85.7	2	—	—	3	2	17	(—)	24	265
計	320	264	82.5	16	3	13	33	19	198	(—)	282	4,105
構成比				5.7%	1.1%	4.6%	11.7%	6.7%	70.2%		100.0%	
6年度実績	327	218	66.7	30	8	13	47	26	122	(—)	246	4,175

6年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
46.4	420
65.5	542
41.7	162
79.3	431
69.0	160
60.7	449
64.3	384
85.7	398
76.0	369
53.8	259
68.0	138
85.7	463
66.7	4,175

オ 中リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計	
令和7年 4月	26	26	100.0	2	4	1	—	1	21	(—)	29	174
5月	29	29	100.0	8	17	1	2	4	6	(—)	38	506
6月	25	25	100.0	3	13	—	2	1	9	(—)	28	396
7月	28	28	100.0	3	14	2	2	3	9	(—)	33	232
8月	30	30	100.0	4	7	—	2	5	16	(—)	34	299
9月	27	27	100.0	5	12	1	1	4	10	(—)	33	211
10月	29	29	100.0	5	5	1	2	6	16	(—)	35	454
11月	28	28	100.0	1	10	2	4	1	13	(—)	31	401
12月	24	24	100.0	2	8	—	—	2	14	(—)	26	481
8年 1月	26	26	100.0	6	16	2	2	1	7	(—)	34	552
2月	24	24	100.0	3	15	3	3	3	3	(—)	30	138
3月	28	28	100.0	2	11	1	1	3	13	(—)	31	234
計	324	324	100.0	44	132	14	21	34	137	(—)	382	4,078
構成比				11.5%	34.6%	3.7%	5.5%	8.9%	35.9%		100.0%	
6年度実績	328	327	99.7	43	69	17	21	26	209	(—)	385	4,624

5年度実績	
利用率 (B/A)	入場者数
96.4	219
100.0	213
100.0	592
100.0	459
100.0	545
100.0	645
100.0	439
100.0	95
100.0	175
100.0	524
100.0	300
100.0	418
99.7	4,624

(2) 催物別利用状況

ア 大ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			映画	その他の 芸能	講演会	式典等	計
	クラシック		その他の 音楽	邦楽	バレエ	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュージ カル	一般 演劇					
	オペラ	その他													
令和7年 4月	件 －	件 －	件 16	件 －	件 －	件 1	件 －	件 －	件 5	件 －	件 －	件 －	件 2	件 1	件 25
5月	－	－	14	－	3	－	－	－	6	－	－	－	1	－	24
6月	－	2	12	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	5	23
7月	4	1	9	－	6	－	－	－	－	－	－	1	－	－	21
8月	－	1	1	－	1	1	－	－	14	3	－	4	－	3	28
9月	－	－	12	－	－	－	－	－	7	－	－	－	－	2	21
10月	－	2	11	－	3	－	－	－	10	－	－	－	－	3	29
11月	－	－	16	－	5	2	－	－	－	2	－	－	－	1	26
12月	－	3	13	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	18
8年 1月	1	3	6	－	－	－	－	－	7	3	－	2	－	－	22
2月	4	1	6	1	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	16
3月	－	－	16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	16
計	9	13	132	1	24	8	－	－	49	8	－	7	3	15	269
構成比	3.3%	4.8%	49.1%	0.4%	8.9%	3.0%	－	－	18.2%	3.0%	－	2.6%	1.1%	5.6%	100.0%
	57.6%				11.9%			21.2%			9.3%				100.0%

(注) 構成比は、全体に占める割合(%)を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。以下の表においても、同じである。

イ コンサートホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽											演劇	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック								軽音楽	その他の 音楽	邦楽				
	オーケ ストラ	合唱	吹奏楽	室内楽	声楽	ピアノ	オルガン	その他							
令和7年 4月	件 12	件 －	件 3	件 －	件 －	件 －	件 5	件 －	件 2	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 22
5月	14	1	－	1	－	1	8	－	1	－	－	－	－	1	27
6月	10	1	2	1	1	1	2	－	－	1	－	－	－	2	21
7月	13	－	－	1	－	2	7	－	－	2	－	－	1	1	27
8月	13	1	－	1	－	2	5	－	－	－	－	－	4	－	26
9月	9	1	1	3	－	5	8	－	－	－	－	－	－	－	27
10月	11	4	1	4	－	2	9	－	－	－	－	－	－	－	31
11月	11	4	1	1	3	3	10	－	－	－	－	－	－	－	33
12月	8	2	－	1	1	5	9	－	－	－	1	－	－	－	27
8年 1月	13	－	－	1	1	2	6	－	3	－	－	－	－	－	26
2月	8	3	－	2	－	2	6	－	1	－	－	－	－	－	22
3月	10	－	2	2	－	6	5	1	1	－	－	－	－	－	27
計	132	17	10	18	6	31	80	1	8	3	1	0	5	4	316
構成比	41.8%	5.4%	3.2%	5.7%	1.9%	9.8%	25.3%	0.3%	2.5%	0.9%	0.3%	－	1.6%	1.3%	100.0%
	93.4%								3.8%			2.8%			

ウ 小ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			演芸	映画	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック	歌謡曲	その他の 音楽	邦楽	現代 舞踊	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュージ カル	一般 演劇					
令和7年 4月	1件	1件	5件	－件	－件	2件	－件	－件	－件	－件	1件	－件	－件	2件	12件
5月	1	1	－	－	－	1	－	－	－	19	－	－	2	－	24
6月	1	－	3	－	1	－	－	－	－	13	1	－	－	3	22
7月	－	－	－	－	1	3	1	－	6	9	1	－	－	2	23
8月	1	－	1	－	6	3	－	－	－	6	－	－	6	2	25
9月	－	－	1	－	25	－	－	－	－	2	－	－	－	－	28
10月	－	－	－	－	10	－	－	－	－	18	－	－	－	－	28
11月	－	－	－	1	15	1	－	－	－	7	－	－	1	－	25
12月	5	1	－	－	－	－	－	－	－	10	－	1	1	－	18
8年 1月	1	－	1	－	5	－	－	－	－	4	1	3	－	1	16
2月	3	－	－	－	－	－	－	－	－	11	1	－	3	－	18
3月	1	－	2	－	3	6	－	－	－	8	－	－	－	－	20
計	14	3	13	1	66	16	1	0	6	107	5	4	13	10	259
構成比	5.4%	1.2%	5.0%	0.4%	25.5%	6.2%	0.4%	－	2.3%	41.3%	1.9%	1.5%	5.0%	3.9%	100.0%
	12.0%				32.0%			43.6%			12.4%				100.0%

エ 大リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
令和7年 4月	1	15	1	4	21
5月	—	16	—	6	22
6月	2	19	—	4	25
7月	2	18	3	2	25
8月	5	17	4	5	31
9月	8	17	—	1	26
10月	2	24	3	1	30
11月	2	13	1	5	21
12月	1	16	1	1	19
8年 1月	—	12	—	6	18
2月	—	17	1	2	20
3月	—	20	—	4	24
計	23	204	14	41	282
構成比	8.2%	72.3%	5.0%	14.5%	100.0%

オ 中リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
令和7年 4月	—	26	2	1	29
5月	—	31	5	2	38
6月	2	19	4	3	28
7月	1	29	2	1	33
8月	2	24	—	8	34
9月	—	30	2	1	33
10月	5	25	4	1	35
11月	5	20	6	—	31
12月	2	20	4	—	26
8年 1月	—	24	4	6	34
2月	—	27	3	—	30
3月	—	27	3	1	31
計	17	302	39	24	382
構成比	4.5%	79.1%	10.2%	6.3%	100.0%

アートスペース（催事室）の利用状況

別表 2

(1) 利用室別利用状況、入場者数

ア 会議室利用

利用月	A室				B室				C室				D室				E・F室				合計				入場者数 (A～E・F)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
7年 4月	26	8	30.8	8	26	4	15.4	4	26	14	53.8	15	26	16	61.5	22	26	17	65.4	18	130	59	45.4	67	2,100
5月	27	5	18.5	6	27	5	18.5	5	27	12	44.4	16	27	14	51.9	15	27	15	55.6	19	135	51	37.8	61	1,560
6月	25	16	64.0	17	25	3	12.0	3	25	14	56.0	16	25	12	48.0	14	25	19	76.0	24	125	64	51.2	74	3,617
7月	27	11	40.7	13	27	3	11.1	3	27	16	59.3	18	27	16	59.3	19	27	20	74.1	22	135	66	48.9	75	3,186
8月	27	13	48.1	15	27	6	22.2	6	27	17	63.0	17	27	16	59.3	17	27	16	59.3	17	135	68	50.4	72	2,906
9月	25	9	36.0	9	25	8	32.0	8	26	20	76.9	22	25	17	68.0	20	26	15	57.7	16	127	69	54.3	75	1,881
10月	27	8	29.6	8	27	6	22.2	6	27	16	59.3	18	27	19	70.4	20	27	15	55.6	17	135	64	47.4	69	1,895
11月	26	8	30.8	9	26	6	23.1	6	26	18	69.2	24	26	19	73.1	20	26	15	57.7	18	130	66	50.8	77	2,231
12月	23	13	56.5	13	23	4	17.4	4	23	16	69.6	19	23	11	47.8	13	23	13	56.5	14	115	57	49.6	63	2,253
8年 1月	24	13	54.2	14	24	5	20.8	5	24	17	70.8	19	24	18	75.0	21	24	16	66.7	20	120	69	57.5	79	2,350
2月	24	15	62.5	15	24	7	29.2	7	24	18	75.0	22	24	13	54.2	15	24	14	58.3	15	120	67	55.8	74	2,769
3月	26	8	30.8	8	26	6	23.1	6	26	13	50.0	17	26	14	53.8	16	26	16	61.5	17	130	57	43.8	64	1,767
計	307	127	41.4	135	307	63	20.5	63	308	191	62.0	223	307	185	60.3	212	308	191	62.0	217	1,537	757	49.3	850	28,515
構成比				9.0%				4.2%				14.8%				14.1%				14.4%				56.4%	
6年度実績	300	138	46.0	147	306	74	24.2	75	306	195	63.7	213	306	192	62.7	225	305	202	66.2	231	1,523	801	52.6	891	26,330

イ 展示室利用

利用月	G室				H室				X室				合計				入場者数 (G・H・X)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
7年 4月	26	13	50.0	13	26	5	19.2	5	26	6	23.1	6	78	24	30.8	24	1,356
5月	27	21	77.8	21	27	16	59.3	16	27	11	40.7	11	81	48	59.3	48	2,140
6月	22	16	72.7	16	21	21	100.0	21	21	11	52.4	11	64	48	75.0	48	3,836
7月	27	25	92.6	25	27	24	88.9	24	27	19	70.4	19	81	68	84.0	68	5,053
8月	27	21	77.8	21	27	24	88.9	24	27	27	100.0	27	81	72	88.9	72	4,913
9月	26	26	100.0	26	26	26	100.0	26	26	26	100.0	26	78	78	100.0	78	4,529
10月	27	27	100.0	27	27	27	100.0	27	27	27	100.0	27	81	81	100.0	81	5,101
11月	27	27	100.0	27	27	27	100.0	27	27	27	100.0	27	81	81	100.0	81	8,737
12月	23	23	100.0	23	23	18	78.3	18	23	18	78.3	18	69	59	85.5	59	3,336
8年 1月	24	14	58.3	14	24	8	33.3	8	24	10	41.7	10	72	32	44.4	32	2,065
2月	24	2	8.3	2	24	4	16.7	4	24	5	20.8	5	72	11	15.3	11	389
3月	26	21	80.8	21	26	8	30.8	8	26	26	100.0	26	78	55	70.5	55	4,464
計	306	236	77.1	236	305	208	68.2	208	305	213	69.8	213	916	657	71.7	657	45,919
構成比				15.7%				13.8%				14.1%				43.6%	
6年度実績	292	232	79.5	232	293	195	66.6	195	297	146	49.2	146	882	573	65.0	573	39,378

ウ 合計

利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	入場者数
日	日	%	件	人
208	83	39.9	91	3,456
216	99	45.8	109	3,700
189	112	59.3	122	7,453
216	134	62.0	143	8,239
216	140	64.8	144	7,819
205	147	71.7	153	6,410
216	145	67.1	150	6,996
211	147	69.7	158	10,968
184	116	63.0	122	5,589
192	101	52.6	111	4,415
192	78	40.6	85	3,158
208	112	53.8	119	6,231
2,453	1,414	57.6	1,507	74,434
			100.0%	
2,405	1,374	57.1	1,464	65,708

- (注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。
2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
3 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

(2) 催物別利用状況

利用月	催物別利用件数										計
	映画会	芸術文化 講演会	芸術文化に 関する会議	展覧会	展覧会 表彰式	国際会議	教育学術 会議	研修	その他の 講演会	その他の 会議	
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
7年 4月	－	3	44	16	－	－	－	10	2	16	91
5月	－	5	34	47	1	－	1	2	－	19	109
6月	2	5	40	48	－	－	2	3	5	17	122
7月	1	13	41	66	－	－	1	4	－	17	143
8月	－	8	60	60	1	－	－	2	3	10	144
9月	－	10	54	78	－	－	－	3	－	8	153
10月	－	13	32	81	－	－	－	2	3	19	150
11月	－	13	35	81	－	－	－	5	3	21	158
12月	3	－	35	59	－	－	1	2	7	15	122
8年 1月	－	16	54	26	1	－	－	3	5	6	111
2月	1	4	41	7	－	－	－	5	11	16	85
3月	－	7	47	51	3	－	－	－	2	9	119
計	7	97	517	620	6	0	5	41	41	173	1,507
構成比	0.5%	6.4%	34.3%	41.1%	0.4%	0.0%	0.3%	2.7%	2.7%	11.5%	100.0%
6年度実績	16	88	511	527	9	0	22	23	24	244	1,464

- (注) 1 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
2 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

事業報告の附属明細書

令和 7 年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。